

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月27日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会

代表者名 森 茂樹

印

所在地 和泉市はつが野3-45-19

電話番号 090-8756-5421

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	はつが野祭り
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,218,000 円 (うち、対象経費 1,719,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

## 団体概要調書

フリガナ	ハツガノマチツクリスイシンイインカイ		
団体名	はつが野街づくり推進委員会		
団体の目的	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなるはつが野街づくり推進委員会が主催する はつが野祭りを通して地域住民の親睦を深め、世代間交流を推進する。		
市内事務所の所在地	〒594-1106 和泉市はつが野 3-45-19 森茂樹方 【 住居と兼用 】		
	電 話	090-8756-5421	F A X 0725 (24) 7453
フリガナ	モリ シゲキ		
代表者氏名	森 茂樹		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ██████████		電 話 ██████████
	██████████		F A X ██████████
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	2012年4月	主な活動地域	はつが野一・二・三丁目
会報等の発行	無	会員数	1,250人
メールアドレス	██		
ホームページ	<a href="https://sites.google.com/view/hatsugano-machizukuri/">https://sites.google.com/view/hatsugano-machizukuri/</a>		
主な事業内容	1 はつが野街づくりに関する検討、協議を行う。 2 はつが野祭りの実施 3 その他この会の目的達成のために必要な活動		
主な活動の実績	○ はつが野祭りの実施 (1) H28.11.06 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,000人 (2) H29.10.29 青葉はつが野小学校 参加者 約 2,500人 (3) H30.11.29 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,000人 (4) R1. 11.3 青葉はつが野小学校 参加者 約 3,000人 (5) R5.10.29 青葉はつが野小学校 参加者 約 4,500人		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	はつが野祭り
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等  はつが野地区は、URの開発から間もなく30年を迎える住宅地で、1-2-3丁目では開発がほぼ終了している。開発当初の入居者は高齢化が進み、子育て世代の若い方も少しずつ減少傾向にある。全体としては、幅広い年齢層の方が居住されています。 エリアの特色として他エリアからの入居者が多く、住民間のつながりが希薄になりやすい環境の中、街づくり推進委員会が主体となって行事を催すことで、地域間、住民間の「つながり」を育んできました。 そのような中、ここ3年間コロナ禍により人が集まる行事の中止を余儀なくされ、住民間のつながりを作るための活動が停滞してきています。 コロナへの対応が一段落した今こそ、停滞していた活動を活性化する意味から、地域が主体となって行うはつが野祭りの開催が必要と考えます。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果  コロナ禍により停滞していた住民間の「つながり」を育む活動再開を目的に、幅広い年齢層が楽しみ、地域の事業者の方にも参加いただけるイベントを開催し、地域間・世代間の交流、地域事業者との連携などを通じて連帯感の醸成を図り、世代間交流による子どもを見守り育てやすい環境を醸成し、災害時など困ったときに助け合える地域にしていきたいと考えています。 令和5年10月29日の祭りには、一般参加者4,080人 ステージ150人 飲食ブース100人 ゲームブースおよびスタッフ315人 4,645人の参加があり、過去最多となりました。自治会員には祭り会場で使える金券300円分を発行。自治会ブースでは、ハロウィンの衣装を着た子供たちにお菓子をプレゼント。また、かけっこにハロウィンの衣装で走った子には、追加の景品を用意するなどして、盛り上がりました。テーマを「みんなでつながろう one for all all for one」を掲げて、バックパネルを作り、地域のつながりを醸成できたと思います。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。  (1) 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション 南池田中学校生徒吹奏楽部演奏、フラダンス、こどもジャズダンス、バレエ発表等 (2) 自治会員によるゲームブース 金魚すくい、くじ引き、ミニグラウンドゴルフ、スピードガン、囲碁将棋等 (3) 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売） ベビーカステラ、クレープ、パン、シシケバブ等  以上のイベント等を行い、たくさんの方が楽しめるはつが野祭りを開催する。	

②実施期間（日時）	令和6年11月3日（日）午前9時～午後3時
③実施場所	青葉はつが野小学校 グラウンド
④主な対象者	青葉はつが野地区のすべての住民
⑤参加予定者数	3,000人
⑥告知方法	広報いずみでの告知 はつが野1丁目、2丁目、3丁目の全戸に開催案内チラシを配布 ホームページで開催を告知

## 5 事業スケジュール

次期（月）	内容
5月	イベントのテーマ、日時、場所、スケジュールの協議
6月	演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物の協議
7月	舞台および音響設備、ブース経費、収支検討
8月	運営計画書の提出、タイムテーブル、会場レイアウト、案内書の協議
9月	事前準備と進行、作業分担の協議
10月	案内パンフレット作成、地域住民への告知
11月	はつが野祭りの開催

## 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

①公益性	地域住民同士の関係が希薄になっている今、祭りを開催することにより、大人子ども問わず世代間の交流をすることができ、地域のコミュニティの輪が広がっていく。いざというときに助け合える関係の構築や連帯感の強化に繋がり、活気のある街へとなっていく。毎年、たくさんの方に参加していただき、満足の声をいただいている。
②継続性	2010年から「はつが野祭り」を毎年開催してきており 地域に秋のイベントとして定着している。2020、2021、2022年度はコロナ感染症の影響で、中止にしたが 2023年以降も継続して開催していく方針です。 本事業を通して、近隣者と親睦を図り親交を深めることで、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街づくりに繋がっていくと考えており、本事業の成果は広く波及していく。また、本事業を行うことで、祭りに参加した子どもたちが大人になったとき、子どもの時の体験を思い出し、地域のボランティアに育ってもらうことにも波及すると考えています。 ゲームブースでの売上、近隣の店舗や企業等からの協賛金、自治会からの支出金等、補助金以外でも財源は確保されています。
③実行性	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなる「はつが野街づくり推進委員会」が企画、準備、運営を行う。ノウハウが蓄積されており、継続して開催していくことで若い世代にも引き継がれていく。
④協働性	大人、子ども共に、顔見知りを増やし交流することができる。世代を超えた交流をすることができる。

	<p>はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなる「はつが野街づくり推進委員会」にそれぞれの自治会の役員が所属し、意見交換、祭りの運営などを通して、交流を図ることができる。異なる自治会であっても一つの目標に向かってお互いに切磋琢磨して成し遂げることができる。</p> <p>また、地域周辺の学校、団体、サークル、飲食業者とも協力して、祭りを盛り上げる。</p>
⑤公開性	<p>自治会員向けだけでなく、地域の全部の人たちに参加していただくように、チラシの配布を行い、楽しんでいただける環境を整えている。</p>
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>2017年、2018年、2019年は、それぞれ3,000人を超す観客を集めることができました。今後は祭りの「ゲーム」「飲食」「ステージでの演技」だけでなく、未来の地域の防災などにも取り組んでいく予定です。また、コロナ禍で開催できなかった期間に新しく『はつが野 GO!』というスタンプラリーをスタートさせました。2023年では 祭りとスタンプラリー両方を開催しました。今後も続けていく予定です。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： 令和6年度 はつが野祭り

## 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	450,000	各ゲームブースでの売上金
	350,000	近隣商店、企業、医療施設等からの協賛金
自主財源	618,000	各自治会支出金（はつが野自治会、はつが野3丁目自治会、はつが野松風台自治会）
合計	2,218,000	

## 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	40,000	演目出演者謝礼
消耗品費	95,000	各ゲームブース材料代、ブルーシート等
食糧費	30,000	スタッフ飲料代（100円×300人）
印刷製本費	38,000	開催案内（A4カラー4ページ 2,500部） アンケート用紙（A4両面カラー 500部）
役務費	15,000	切手、振込手数料、通信費
委託料	450,000	舞台音響設備設置・運営費 シルバー人材センター（駐車場等整理）
使用料及び賃借料	1,051,000	レンタカー（ガソリン代込） テント・机・イス等レンタル
対象経費合計	1,719,000	
報償費（対象外）	2,000	シニアセンター清掃協力金
消耗品費（対象外）	300,000	クイズ景品、抽選会景品等
食糧費（対象外）	160,000	スタッフ昼食代 380個
印刷製本費（対象外）	35,000	会議資料印刷、コピー代
役務費（対象外）	2,000	振込手数料、景品送料
対象外経費合計	499,000	
合計	2,218,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書 追加資料

1 団体名	はつが野街づくり推進委員会
2 事業名	はつが野祭り
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和 5 年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。
	1) 運営に関して スタッフの役割分担がしっかり徹底されておらず、混乱があった。 参加型出演の受付の場所が良く分からなかった。 ステージの進行が遅れ気味であった。 トイレの数が参加者人数からして少ない。
	2) 音響 スピーカーの音が後ろまで届いていなかった。
	3) 飲食店舗 大混雑で思うように購入できなかった。
	1) 運営に関して ゲームブース、飲食ブース、ステージ、協賛、などの責任者を決めて、相互に運営上の漏れがないかチェックできる体制を構築する。 ステージのプログラムについては、きっちりいっぱい詰めるのではなく、間に 15 分間くらいのバッファ枠を作って調整できるようにする。 トイレについては、小学校のプレハブ校舎のトイレを使えるように申し込み済み。
	2) 音響 スピーカーだけの問題ではなく、アナウンサーの活舌、音程なども関係するので、次回は、アナウンサーの適任者を選抜して対応する。
	3) 飲食店舗 今回は、12 店舗の出店だったが、次回は店舗数を 15 程度に増やす方向で検討している。また、店舗窓口で注文してから調理して提供という形態が多かったので余計に時間が掛かったと思われるので、おにぎり、パン、などすぐに手渡しできるもの、また水、お茶、ジュースなどの飲み物の販売も検討して行く。

5 令和6年度事業において以下のことについて記入してください。

- ・新たに取り組む事項
- ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項
- ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に変化がある事項 等

- ・新たに取り組む事項

今までは、はつが野自治会、はつが野 3 丁目自治会、はつが野松風台自治会の班長・役員で祭りのゲームブースの出店準備、当日の運営などをやって来たが、次回からは 基本的に 自治会員、小学生、中学生などからの自発的な出店・出演にて、運営するという方向に切り替える。

- ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項

今までは、はつが野自治会、はつが野 3 丁目自治会、はつが野松風台自治会の役員で「はつが野街づくり推進委員会」を構成して、運営母体としてやってきたが、次回からは、桃山祭実行委員会のメンバー、青葉はつが野小学校の小学生の運営メンバーなどを加えて、5 月くらいから協議検討を開始して行く。子どもたち、大学生からのアイデアを取り入れて、盛り上げられるようにして行く。

- ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に変化がある事項 等

はつが野地区は、全員が他エリアからの入居者であり、地元愛、地元感覚がない状況の中、「はつが野祭り」を開催することで、地域間、住民間の「つながり」を育んできた。今回の祭りでも、自治会ブースを設置して、自治会の取り組んできた実績の紹介などを展示、また地域包括支援センター、CSWにも福祉ブースを出していただき、活動の紹介を行った。和泉中央消防署ともコラボして同時イベントを開催。スタンプラリーで双方の会場へ誘導など行った。今後もこのような施策を続けることで、住民の間に、地元愛、地元感覚が根付いて行き、新しい伝統が生まれるものと期待する。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。